

越前岳(1504m)山行報告

【山行日】2016年11月23日(水) 曇り
【集合】岩舟支所P AM 5:00
【費用】マイカー1台 : 4,700円
【メンバー】CL:鈴木 ヌ 岩淵、稲葉、大西、
島田、渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=山神社 P
7:20/7:40~富士見峠 8:20~黒岳 8:50/9:00~
富士見峠 9:20~鋸岳展望台 9:50/10:00~
富士見台 10:40~越前岳 11:00/11:35~馬ノ背
12:30/12:40~展望台 13:00~十里木高原
P13:20/14:20=岩舟支所 P17:10



富士山の眺望がすばらしい、越前岳を計画した。今回は入会希望のI葉さんが体験山行で参加し、車中がいつもと違った雰囲気です。東名高速裾野ICで降り十里木方面に向かい、登山口がある山



神社駐車場を目指す。山神社駐車場は20台位駐車出来、簡易トイレが設置されている。トイレを済ませ、ストレッチを行い自己紹介してから出発する。道路を渡り、愛鷹神社入口の看板がある登山口から登り始める。薄暗いスギ林の登山道を登り、しばらくすると左側に愛鷹山荘が現れる。手前にはトイレがあり、I葉さんは早速利用する。山荘前から一登りで富士見峠に出るが、富士山は雲の中で見る事が出来なかった。富士見峠から右に進み、黒岳をピストンする。途中に黒岳展望広場があり、晴れていれば富士山が良く見える場所だが、今日は雲に隠れ見えなかった。

自然林の気持ち良い登山道を歩き、黒岳山頂で休憩を取る。

大きなナシをいただいたが、甘くてジューシーでとても美味しかった。富士見峠まで来た道に戻り、峠から越前岳に向かって直進する。危険箇所は無いが、登山道が深くぐれた箇所があり、脇の新たな踏み跡を歩いたり忙しい。アセビ等の自然林の中を歩き、晴れていれば気持ちよく歩ける道だが、ガスが掛かりて遠くは見えない。鋸岳展望台に着き、小休止し菓子を食べてエネルギーを補給する。ここからは尾根道を登るようになり、左側が断崖絶壁の北白ガレンと呼ばれる場所もロープが張られ、下に安全な道が付けられていた。北白ガレンから10分ほど登ると、富士見台に着く。ここは山頂よりも富士山が良く見え、昭和初期の五十銭紙幣にここから撮影した富士山が使われた。何も見えないのでそのまま通過し、越前岳山頂を目指す。皆さん快調に歩き、予定よりも30分早く越前岳山頂に着いた。山頂は大勢の登山者で賑わっており、手前の樹林の中では若者のグループが料理を作り、宴会を始めていた。我々も記念写真を撮り、ベンチを確保して昼食の準備を始める。



本日の山ご飯は、焼きそばとほうれん草の卵スープにほうれん草のおひたしと豪華。お稲荷さんも食べ、



大満足。後片付けが済んだら下山する。下山は富士山に向かって、十里木高原へ降りて行く。危険箇所は無いが、湿った土が滑りそうで気を抜けない。道筋が何本もあり、歩き易い道を選びながら降りて行き、傾斜が緩くなると馬の背に着く。最後の休憩を取り、リンゴや菓子を食べ疲れを癒す。計画ではここから我輩が先行して下り、バスに乗って車を回収に向かう予定だったが、計画よりかなり早いので急ぐ必要が無くなり皆と一緒に降りる。大きな電波塔が見えると下山口は近い。電波塔の左側を通り、展望台を過ぎると道が二手に分かれ、右に進んで

長い階段を下るとトイレがある駐車場に着く。

皆さんはここで待ってもらい、我輩は車を取りに十里木バス停に向かう。10分程歩き十里木バス停からバスに乗り、愛鷹山登山口でバスを降り、大沢林道を20分歩くと山神社駐車場に着く。車を回収し十里木高原へ向かうと、途中国道を歩いている男女がいた。車を止めて聞くと、バスに乗り遅れたらしい。行き先が同じなので2人を乗せ、十里木高原へ向かった。歩くと1時間以上かかるので、とても助かったと感謝された。十里木高原の駐車場に着き、待っていた皆さんを乗せ帰路につく。



帰りの東名高速道も順調で、圏央道菖蒲 SA に寄って買い物し、予定より少し遅れて岩舟支所に帰着した。